

農家の農業所得 其の一 (自作又は小作を含む場合
家族經營其儘の形にての計算)

- ▲農家の農業總收入 = 耕種收入 + 養蠶收入 + 養畜收入
+ 農産製造收入 + 山林收入 + 其他收入
- ▲農家の農業經營費 = 土地改良費 + 建物費 + 農具費 + 種苗費
+ 家畜代 + 蠶種代 + 飼料費 + 肥料費
+ 藥劑費 + 光熱費 + 加工原料費
+ 雇傭勞賃 + 畜力費 + 動物減價額
+ 植物減價額 + 諸負擔 + 賃借料 + 小作料
+ 農業負債利子 + 其他

▲農家の農業所得 = 農業總收入 - 農業經營費

▲農業純財産利廻 = 農業所得 + 農業純財産

▲家族農業勞働の報酬總額 } = 農家の農業所得 - 農業純財産利子

「勞働能力10」に對する總額 } = $\frac{\text{家族農業勞働報酬總額}}{\text{家族勞働能力合計}}$

從業家族平均一日當り金額 } = $\frac{\text{家族農業勞働報酬總額}}{\text{家族の延勞働歩數}}$

農家の農業所得 其の二 (小作地を自作と見て尙
資本家的計算の場合)

- ▲農業總收入 = 耕種收入 + 養蠶收入 + 養畜收入 + 農産加工收入
+ 山林收入 + 其他收入
- ▲農業經營費 = 土地改良費 + 建物費 + 農具費 + 種苗費 + 家畜代
+ 蠶種代 + 飼料費 + 肥料費 + 藥劑費 + 光熱費
+ 原料加工費 + 雇傭勞賃 + 畜力費 + 動物減價額
+ 植物減價額 + 諸負擔 + 小作地に對する諸負擔
+ 賃借料 + 家族見積勞賃 + 其他
- ▲農業所得 = 農業總收入 - 農業經營費
- ▲農業企業益 = 農業所得 - 農業資本利子

生産費の計算

▲米(玄米)生産費

石當り生産費 = {(種子代 + 肥料費 + 農具費 + 建物費
+ 諸原料材料費 + 勞賃 + 諸負擔
+ 小作料 + 土地資本利子)
- 副收穫物價格} + 玄米總收量

反當り生産費 = (種子代 + 肥料費 + 農具費 + 建物費
+ 諸原料材料費 + 勞賃 + 諸負擔
+ 小作料 + 土地資本利子) + 稻作經營
反別

▲麥類生産費……玄米の生産費参照。

▲桑葉生産費

反當り生産費 = (肥料費 + 農具費 + 新植及改植費 + 諸材料費
+ 勞賃 + 租稅公課 + 小作料 + 土地資本利子)
+ (純桑園 + 混桑園)

貫當り桑葉生産費 = 反當り生産費 + 摘桑葉量

▲繭生産費

上繭生産費 = {(蠶種代 + 桑葉費 + 勞賃 + 蠶室蠶具費
+ 所得稅及組合費 + 光熱費 + 藥劑費 + 其他)
- (玉繭屑繭及蠶渣の價格)} + 上繭生産量

▲掛目

繭の掛目 = $\frac{\text{繭の相場(貫當り)}}{\text{繭(貫當り)の糸量}}$

生糸の掛目 = $\frac{\text{生糸相場(百斤)} - \text{加工賃}}{16}$

廿四節其他

	月日		月日		月日
立春	2. 4頃	芒種	6. 5頃	寒露	10. 8頃
雨水	2.19 "	夏至	6.20 "	霜降	10.23 "
啓蟄	3. 5 "	小暑	7. 7 "	立冬	11. 7 "
春分	3.21 "	大暑	7.20 "	小雪	11.22 "
清明	4. 5 "	立秋	8. 7 "	大雪	12. 6 "
穀雨	4.20 "	處暑	8.22 "	冬至	12.22 "
立夏	5. 5 "	白露	9. 7 "	小寒	1. 6 "
小滿	5.20 "	秋分	9.23 "	大寒	1.20 "

- (節分) は立春の前日(2月3日頃)
- (八十八夜) は立春より88日目(5月2日頃)
- (入梅) は夏至の10日前(6月10日頃)
- (土用) は年4回、立春、立夏、立秋、立冬の前各18—19日間。
- (冬の土用) は立春の前の土用
- (春の土用) は立夏の前の土用
- (夏の土用) は立秋の前の土用
- (秋の土用) は立冬の前の土用
- (土用入) 各土用の始めを言ひ、夏の土用入は7月20日頃
- (彼岸) 春分、秋分の中日、前後3日間(7日)を言ふ。

度量衡の換算

度	1米(メートル) = 3.3尺 = 39.370吋 = 3.2808呎
	1尺 = 0.30303米 = 0.9942呎 = 11.9303吋
	1秆(キロメートル) = 1000米 = 0.6214哩 = 9町10間
	1哩(マイル)(英・米) = 1.6093秆 = 14町45間
量	1里 = 2160間 = 12960尺 = 3.9273秆 = 2.4403哩
	1百リトル = 0.1立方米 = 0.5544石 = 3.5937立方尺
	1ガロン(米國) = 2.0985升 = 3.7854リトル
	1ガロン(英國) = 2.5201升 = 4.5460リトル
	1ブツセル(英國) = 2.0161斗, 1ブツセル(米國) = 1.9535斗
	1立方米 = 35.937立方尺 = 554.352升
	1立方尺 = 0.0278立方米 = 15.426升
	1石 = 180.37リトル = 6.4827立方尺
	1廳 = 1000匁 = 266.667貫 = 1666.667斤(1斤 = 160匁 = 0.6匁)
	1キントール(主トシテ穀物 = 用フ) = 1/10廳
衡	1英噸 = 2240封度(ポンド) = 270.946貫 = 1693.412斤
	1封度(英・米) = 120.953匁 = 0.45359廳
	1オンス(英・米) = 1/16封度 = 7.55987匁 = 28.350グラム
	1擔(ピクル)(日本) = 100斤 = 0.06廳
1貫 = 3.75匁 = 8.2673封度 = 0.063擔(ピクル)	
地積	1百アール = 10000平方米 = 1.00833町歩
	1エーカー(英反) = 0.4031町歩 = 0.4047ヘクタール
	1方秆 = 0.0648方里 = 0.3361方哩 = 100.833町歩
	1方哩 = 0.1679方里 = 2.5399方秆 = 261.157町歩
	1方里 = 5.955方哩 = 15.4235方秆 = 1555.2町歩
1000町歩 = 0.643方里 = 9.917平方秆	

農事七十年史 (明治初年以降昭和13年6月迄)

	農事一般 (カツコ内は月)	社會一般
明治1年	○村々の土地は百姓持地と定む ○生絲改所を江戸吳服橋牧野駿河守邸に設置 ○米價石建五圓九八錢	○五箇條御誓文下る○江戸を東京と改稱
2年	○牧業を現在の千葉縣各地に試む ○水稻「雄町」種岡山某に依り發見さる ○米價石建九圓二錢	○藩籍奉還東京遷都○士族續續歸農す
3年	○東京府開墾局にて洋種の牧草、甜菜、燕菁の種子を播種試作す(4) ○南京米の輸入盛○米價石建九圓廿錢	○銀貨本位(一圓銀貨)成立○種痘法施行
4年	○田圃作物の制限解除、桑、漆、茶等の栽培を許可さる(8) ○東京築地に西洋農具置場を設置、種藝試驗場と稱し、又駒場野、霞ヶ關に農事試驗場設置、米國より購入農具にて西洋種茶類を栽培 ○硝子室青山に設けらる(硝子室の嚙矢) ○磷酸肥料グアノ輸入さる ○農業及農民の解放、田畑勝手作許可 ○制度變革に遭遇し各地に百姓一揆勃發	○金貨本位、純金四分を金一圓に定む ○廢藩置縣 ○北海道拓殖使設置
5年	○土地永代賣買の禁解除、自由賣買許可(2) ○緬羊始めて東京へ輸入(5) ○開拓使假學校開設(札幌農學校前身)(4) ○獨乙式農學に心酔 ○米價石建三圓八八錢	○始めて元始祭行はる○全國に郵便開通○國立銀行設立○改曆
6年	○地租改正、金納制に改む(7) ○紅茶試製さる ○天津水蜜桃初めて結實 ○各種農業書出版盛 ○米價石建五圓七三錢	○徴兵令發布 ○五節可を廢し紀元節天長節祝日

明治7年	○勸業寮に農事修學場設立(農林教育の濫觴) ○我生絲の直輸出開始 ○チーゼル輸入試作 ○東京に米穀問屋市場設立 ○落花生米國より渡來 (12)下總國の栽培盛 ○水稻「竹成 三重縣三重郡の老農により發見 ○米價石建七圓廿八錢	○全國の戶籍完成す○佐賀亂勃發○臺灣の役起る○經濟界恐慌
8年	○オレンジ、レモン、改良苺、米國より渡來 ○津田仙氏東京に學農社創立(7) ○爪哇薯北海道へ渡る ○支那蓮渡來 ○アカシヤ、樗傳植 ○米價石建七圓二八錢	○千鳥、樺太交換の約成立○士族の家祿奉還○中央氣象臺設立
9年	○學農社より「農業雜誌」發刊(7) ○札幌學校「札幌農學校」と改稱し教頭に米國マサチユセツツ農大學長クラーク博士招聘 ○株式會社東京米穀取引所設立(10) ○葡萄苗、佛國より輸入○米價五圓一錢	○士民の帶刀禁止 ○熊本神風連の變、筑前秋月、長門族の亂勃發
10年	○勸業寮は勸農局となり内務省内の直轄となる ○勸業寮農事修學場は駒場に移轉し駒場農學校と改稱○内務省樹木試驗場を西ヶ原に設置 ○米國より煙草種子、甜橙、伊國種蜜蜂渡來 ○罐詰勸農局にて試製○米價石建五圓五五錢 ○水稻「神力」兵庫縣揖保郡清津村で發見	○西南の役起る ○第一回内國勸業博覽會東京に開催○我國人口34628千人
11年	○勸農局は農務局と改稱 ○濠洲より羊千五百頭購入下總牧羊場で飼育 ○珈琲、ゴム、印度より小笠原島へ傳植 ○爪哇薯「長崎赤」試作○米價石建六圓三錢	○大久保内務卿刺殺さる ○不換紙幣インフレを呈す
12年	○勸農局新宿試驗場を宮内省の植物御苑とす ○勸農局各地方に農況視察員を派遣す ○印度杉輸入 ○たいざん木上野公園に定植 ○大豐作 ○米價石建七圓九十錢	○始めて府縣會開會 ○國會開設請願運動起る

明治13年	○東京三田育種場に東京農談會開設(3) ○各府縣に農事會、共進會開設を勸奨(5) ○北海道十勝國に蝗の大被害あり(8) ○駒場農學校に獨人ヤンソン氏(獸醫)來朝 ○米價石建十圓四七錢の暴騰、定期市場停止	○橫濱正金銀行 事業開始 ○酒造稅則發布
14年	○大日農會設立(系續農會の母體) ○農務局獨立して農商務省となり八局を置く ○此頃各地方農會、農學校の設立盛 ○濠洲よりゴールデンメロン渡來 ○除虫菊粉英國より輸入 ○米價十圓四九錢	○國會開設の詔 下る(10)
15年	○大日本山林會、大日本水産會創立(1) ○米麥類及山林共進會開催(共進會の嚆矢) ○鹽水選種法横井時敬氏により創案さる ○歐州農法の反動により在來農法の研究熱盛 ○米價石建八圓八六錢	○大藏省紙幣の 整理を行ふ ○日本銀行開業
16年	○大日本農會東京に農產品評會開催(品評會 の名稱の嚆矢) ○民業不干渉説擡頭 ○米價石建六圓四五錢	○兌換制確立 ○「官報」發刊
17年	○馬耕の奨勵あり ○麥銹病北海道札幌郊外に大蔓延 ○稻二期作高知縣に再興 ○米價石建五圓十一 錢	○日銀兌換銀行 券を發行
18年	○駒場農學校にて農學士の稱號を制定 ○除虫菊の種子米國より東京農林學校へ傳植 ○葡萄の硝子室栽培兵庫縣加古郡に設備さる ○租稅加重に農家窮乏 ○米價石建六圓五三錢	○幣制整理完 ○第一次伊藤内 閣成立
19年	○除虫菊米獨逸各國より各地へ輸入傳播盛 ○東京府下六郡に米麥作の模範委託試驗を行 ふ(國立農事試驗場の濫觴)	○帝國大學創立 ○東京深川に廻 米問屋市場創立

明治19年	○過磷酸石灰試製(米國より高峰氏磷礦石を 輸入) ○米價石建五圓六六錢 ○山形産櫻桃東京市内に現る ○米大豊作	○天保通寶廢止
20年	○生絲、茶、小麥の輸出増加 ○東京農林學校(駒場農學校改稱)札幌農學 校、舊駒場農學校の卒業生、農學會を組織 ○米十八年來の大豊作 ○米價四圓九九錢	○所得稅法公布 ○我國人口 39069千人
21年	○農學會より「農學會報」創刊 ○千葉縣の梨「新太白」廿世紀と命名 ○米價石建四圓九一錢	○樞密院官制公 布 ○黒田内閣成 立
22年	○全國的に出水、暴風雨あり凶作 ○米價石建六圓 ○欽定大日本帝國憲法發布	○第一次山縣内 閣成立
23年	○東京農林學校帝大の分科大學として設置 ○東京西ヶ原に農務局假農事試驗場を設置 ○各地に農事試驗場設置さる ○駒場農大にてケルネル、古在由直、長岡宗 好、森要太郎の諸氏稻作肥料試驗發表す(蓋 し我國の科學的試驗成績發表の嚆矢) ○米價石建八圓九四錢 ○米價高に各地不穩	○金鵝勳章制定 ○第一回帝國議 會開會 ○教育勅語下る ○三府四三縣の 區域確立
24年	○東京に育英農學科開設(私立東京農學校 の前身)(3) ○農事試驗場官制公布 ○北陸大水害 ○米價石建七圓六錢	○第一次松方内 閣成立 ○饑尾地 方大地震
25年	○新嘗祭供御の米粟獻穀を宮内省に請願、宮 内大臣より聽許さる ○大日本農會重要農産展覽會開催す(展覽會 の起り) ○大日本蠶絲會創立 ○村、郡農會を府農會と共に系統的にす(系 統農會の濫觴) ○米價石建七圓三四錢	○第二次伊藤内 閣成立

明治26年	○農商務省農事試験場を東京西ヶ原に設立し支場を大阪、宮城、石川、廣島、徳島に置く ○青英養農業科獨立、東京農學校と改稱 ○薤の軟化栽培岡山にて創始 ○米麥不作、關東大霜害 ○米價七圓四十錢	
27年	○系統農會設立の爲大日本農會各參事遊説 ○大日本農會主催第一回全國農事大會開催 ○全國蠶絲業大會開催 ○米價八圓八十錢	○日清戰爭勃發
28年	○横濱、神戸に生絲検査所設置(6) ○水稻「長一本」島根縣簸川郡高松にて撰出 ○縣農會の創立盛 ○米價石建八圓八七錢	○日清戰爭終熄 ○下關係約成る
29年	○縣農會の創立益々盛 ○農事試験場支場を愛知、島根、秋田に増設 ○平核無柿山形より發見 ○米價九圓五四錢	○金貨本位成立 ○第二次松方内閣成立
30年	○東京農學校大日本農會經營に移管 ○作物彌地病學說、バクテリア説と立證さる ○野鼠全國に被害甚大、ウヅカ全國に大發生 ○石灰ボルドー液使用さる ○米價石建一一圓九八錢	○京都帝大開校 ○日本勸業銀行及農工銀行設立
31年	○府縣農事試験場の設立漸く盛 ○滋賀縣にて縣管米穀検査開始 ○甘藷「千葉赤」石川縣にて「下總赤」より選出 ○米價石建一四圓九六錢 ○此夏米價暴騰	○第三次伊藤内閣成立○第一回勸業債券募集 ○大隈内閣成立
32年	○農業學校規則公布 ○耕地整理法公布 ○最初の農學博士澤野淳、古在由直、新渡邊稻造、恒藤規隆、佐藤昌介、玉利善造、横井時敬、本田幸介の八氏 ○米價九圓九九錢 ○水稻「榮作糯」山形縣にて發見選出さる	○臺灣銀行開業 ○現行府縣制々定

明治33年	○産業組合法公布(産業組合記念日)(3) ○トマト、蒔蘿草東京市中に現はる ○甘藷「七福」米國より廣島縣人某輸入栽培す ○農商務省農事試験場煙草試験地を神奈川縣奏野、茨城縣太田に設置 ○九州地方稻作虫害激甚○米價一一圓九三錢	○清國に義和團匪事件勃發
34年	○馬匹去勢法公布 ○狩獵法施行規則公布 ○農業保護主義を國策として採用 ○東京農學校、東京高等農學校と改稱 ○甘藷「チャボ」福井縣坂井郡芦原村にて發見 ○降雹北關東に被害激甚 ○米價一二圓卅錢	○足尾銅山鑛毒問題に關し直訴事件起る ○桂内閣成立
35年	○盛岡高等農林學校開校 ○農事試験場園藝地を靜岡縣興津に設置 ○水稻「惠神」「江戸一」及甘藷「佐久川」山口縣吉敷郡小鯖村の某選出 ○東北地方大凶作 ○米價石建一二圓六五錢	○日英同盟條約成立○日本興業銀行設立○國勢調査十年毎帝國版圖内施行公布
36年	○佛國農學の權威、ピルモーラン伯來朝 ○農事試験場支場中宮城、石川、廣島、徳島愛知、島根を廢止、大阪、秋田、熊本を残す ○種子鹽水選其他栽培法改良等冊子として各府縣にて頒布盛○臺灣總督府農事試験場設立 ○麥の赤澁病大發生○米價石建一四圓四二錢	○専門學校令公布
37年	○煙草專賣法公布(3) ○水稻「敷島」山形縣西田川郡京田村某撰出 ○此頃蠶種貯藏に鳳穴利用、創設の者多し ○農業一般に衰微 ○米價石建一三圓廿二錢	○對露宣戰詔勅下る ○戰時特別増稅
38年	○鹽專賣法公布 ○臺灣農友會創立 ○疏安東京大阪ガス會社より初めて生産さる ○水稻「鶴ノ糯」山形縣西田郡京田村選出す	○日英同盟擴張 ○日露平和條約成立

明治38年	○玉蜀黍「エローデントコーン」「ウイソコンシンNo.8」を米國より北海道へ輸入 ○米價石建一二圓八五錢	
39年	○朝鮮總督府勸業模範場を水原に設置し大邱平壤に支場を木浦に棉作支場を設置 ○水稻「近江早生」埼玉縣入間郡の某選出 ○外米の輸入増加 ○米價石建一四圓七二錢	○第一次西園寺内閣成立
40年	○森林法公布 ○森林組合法公布 ○甘藷「立四十日」千葉縣千葉郡都賀村で發見 ○水稻「田村糯」北海道雨龍郡にて選出さる ○札幌農學校を東北帝國大學農科大學と改稱 ○農民離村漸く盛 ○米價石建一六圓四八錢	○我國總人口48819千人 ○經濟界恐慌
41年	○水利組合法公布 ○肥料取締法公布 ○鹿兒島高等農林學校開校 ○水稻「旭」京都府乙訓郡向日町某選出 ○水稻「酒井金子」山形縣沓海郡西荒瀬村某選出 ○米價石建一五圓九四錢	○第二次桂内閣成立 ○戊申詔書下る
42年	○耕地整理法公布 ○産業組合中央會認可 ○千葉縣立園藝學校開校(千葉高等園藝前身) ○石灰硫黃合劑米國より輸入興津試驗場にて試用す ○米價石建一三圓一四錢 ○大豐作	○朝鮮銀行設立
43年	○農會法改正(農會を市町村農會、郡農會、道府縣農會、帝國農會とす) ○帝國農會設立認可、全國農事會解散 ○上田蠶絲專門學校開校 ○水稻「壽」山形縣人某により人工交配育成す ○關東、宮城縣下大水害 ○米價一三圓廿七錢	○韓國併合條約成立
44年	○蠶絲業法公布 ○農商務省原蠶種製造所設置 ○米價石建十七圓三五錢	○第二次西園寺内閣成立

大正1年	○煙草耕作獎勵金交付内規制定 ○古米缺亡新米早喰盛 ○米價廿圓九六錢	○大正天皇踐祚 ○桂内閣成立
2年	○北海道未曾有の凶作 ○水稻「奥田糯」北海道雨龍郡奥田氏選出 ○京都中央卸賣市場開場(中央卸賣市場の嚆矢)	○第一次山本内閣成立 ○東北帝國大學開校
3年	○輸出入植物取締法公布(3) ○財團法人大原農業研究所岡山縣倉敷に設立 ○水稻「世界一」北海道龜田郡葛西氏選出 ○水稻「中石米」北海道檢山郡片石氏選出 ○水稻「助川早生」山形縣東田川郡木間氏選出 ○地租軽減さる ○米價石建一六圓一三錢	○鹿兒島縣櫻高大噴火 ○大正博覽會開催 ○第二次大隈内閣成立 ○歐洲大戰勃發 ○日獨國交斷絶
4年	○畜産組合法公布 ○米價調節勅令公布 ○社団法人中央畜産會創立 ○生絲繭價昂騰 ○此頃系統農會は技術偏重より農政活動へ轉向 ○水稻「源坊主」北海道空知郡柴垣氏選出 ○水稻「大野糯」北海道空知郡大野氏選出 ○水稻「神錦」秋田縣平鹿郡高橋氏支配育成す ○米價石建一三圓七錢	
5年	○廣島縣七塚原、北海道月寒、大分縣別府の種蓄牧場及種牛場廢止、新たに畜産試驗場を千葉縣千葉郡都村に設置し上掲牧場支場とす ○水稻「藏田坊主」北海道夕張郡藏田氏選出 ○農村景氣良好 ○米價一三圓七六錢	○簡易生命保險法公布 ○寺内内閣成立 ○出超十四億圓に達し戰時景氣あがる
6年	○農業倉庫業法公布 ○關東暴風雨被害甚大 ○瓜實蠅傳播防止の爲臺灣西瓜胡瓜移入禁止 ○華人瓜米國より輸入 ○米價一九圓八四錢	○金輸出禁止
7年	○朝鮮水原高等農林學校開校 ○札幌東北帝大農科大學を北海道帝大農學部と改稱	○原内閣成立

大正7年	○食用蛙加奈陀より輸入計畫あり ○糸南瓜支那より傳植 ○水作爭議頻發 ○米價石建卅二圓七五錢	○米騒動富山縣滑川に勃發し關西關東に波及
8年	○此頃各地に縣農會經營の販賣斡旋所設立盛 ○水稻「竹成稻」發見者松岡氏 梨「長十郎」發見者當麻氏の功益碑を夫々建立 ○九州帝國大學に農學部設置 ○水稻「赤毛糯」北海道上川郡土田氏選出 ○水稻「澤田米」北海道檜山郡澤田氏選出 ○米價石建四五圓九九錢	○物價昇騰 ○投機熱盛となり泡沫會社族出
9年	○銅石鹼液各地にて研究使用され始む ○系統農會米投賣防止に活動す ○鳥取高等農林學校開校 ○帝國森林會創立 ○大豐作 ○米價石建四四圓六三錢	○歐洲大戰終了 ○東京上野にてメーデー行はる 第一回國勢調査
10年	○米穀法公布(4) ○三重高等農林學校開校 ○農事共同作業各地に起る○米價卅圓七九錢	○尺貫法メートル法に改正○高橋內閣成立
11年	○現行農會法公布(4) ○宇都宮高等農林學校開校 ○小型石油發動機岡山縣下農家農用に利用す ○系統農會にて此年より米生産費調査開始 ○此頃より農事講演會に活動寫眞機の利用盛 ○水稻「高瀬錦」山形縣飽海郡常田氏交配育成 ○水稻「今田二號」山形縣飽海郡今田氏交配育成 ○水稻「泉金子」山形縣飽海郡富樫氏選出 ○帝農調査米石當生産費三七圓六三錢 ○米價石建三五圓一四錢	○日本農民組合組織、神戸市にて發會式舉行 ○加藤友三郎內閣成立 ○東京、大阪、京都、橫濱、神戸、名古屋市を六大都市と決定
12年	○全購聯設立 ○產業組合中央金庫設立 ○岐阜高等農林學校開校	○關東大震火災 ○郡制廢止

大正12年	○米價石建卅六圓六二錢 ○〔國民精神作興に關する詔書煥發〕	○第二次山本內閣成立
13年	○京都帝國大學に農學部設置 ○宮崎高等農林學校開校 ○小作調停法公布 ○小作爭議熾烈 ○全國旱害激甚 ○米價石建卅八圓三三錢	○清浦內閣成立 ○加藤高明內閣成立○復興貯蓄債券發行
14年	○農商務省廢止し農林省と商工省に分立す ○農林省内に產業組合課新設 ○私立東京農業大學開校 ○大日本地主協會大阪市に創設 ○米價石建四一圓五七錢	○北但馬大震災 ○第二次加藤內閣成立○普通選舉法生る
昭和1年	○財團法人石垣產業獎勵會東京赤坂に創設 ○朝鮮農會令公布 ○輸出生絲検査法公布 ○自作農維持創設補助規則公布 ○帝國馬匹協會創立 ○米價卅七圓五八錢	○第一次若槻內閣成立 ○今上天皇踐祚し給ふ
2年	○臺北帝國大學に理農學部新設 ○聖上陛下赤坂離宮御內苑に水田を御親耕 ○瓜哇薯「岩手一號」岩手縣農事試驗場で育成 ○水稻「卯年早生」山形縣本間農場にて選出 ○富民協會創立 ○米價石建卅四圓九七錢	○金融界大恐慌 ○丹後大震災 ○田中內閣成立 ○內閣資源局設置
3年	○農業國勢調査の大綱成立す ○水稻「江島珍子」香川縣農事試驗場にて育成 ○米穀法第二條朝鮮へ施行○米價卅圓七十錢	○濟南事件勃發
4年	○家畜保險法公布 ○農業國勢調査施行 ○帝國農會農產物販賣斡旋を統轄 ○農業振興策の研究漸く盛 ○水稻「鳥海糯」山形縣飽海郡久松氏選出 ○米價石建卅八圓九二錢	○拓務省新設 ○濱口內閣成立

昭和5年	<ul style="list-style-type: none"> ○生絲大暴落明治廿九年以來の最低記録(7) ○農林省内に肥料課新設 ○南鮮、九州地方に大暴風雨被害甚大(8) ○マオラン農村に侵入、全国的に問題化する ○農業恐慌時代到来し農産物價何れも激落 ○米大豊作で「豊作饑饉」現出 ○産業合理化運動起る ○米價廿五圓卅錢 	<ul style="list-style-type: none"> ○金輸出禁止解除 ○伊豆大震災 ○濱口首相遭難
6年	<ul style="list-style-type: none"> ○地租法公布 ○蠶絲業組合法公布 ○牧野法公布 ○改正米穀法公布 ○全國米穀販賣購買組合會設立 ○全国的に颱風襲來被害激甚 ○北海道、青森地方大凶作 ○デリス、小笠原島にて試験に着手 ○農業諸團體統制問題擡頭 ○米價一八圓卅六錢 	<ul style="list-style-type: none"> ○第二次若槻内閣成立○滿洲事變勃發○犬養内閣成立○金輸出再禁止○經濟界恐慌深刻化する
7年	<ul style="list-style-type: none"> ○蠶業界各種聯合會設立○小麥増殖獎勵開始 ○米穀法改正、率勢米價廢止 ○農村經濟更生計畫樹立運動漸く盛 ○西日本颱風襲來東北水害○米價二一圓一錢 	<ul style="list-style-type: none"> ○滿洲國帝政實施○五一五事件發生○齋藤内閣成立
8年	<ul style="list-style-type: none"> ○農村負債整理組合法公布 ○農業動産信用法公布 ○農林省米穀局新設 ○米穀統制法實施 ○米作減反案擡頭 ○反産運動起る ○養鶏組合中央會創立 ○大豊作 ○米價石建二一圓二六錢 	<ul style="list-style-type: none"> ○國際聯盟脫退 ○三陸大津浪
9年	<ul style="list-style-type: none"> ○原蠶種管理法公布 ○現行農會法大改正 ○愛林日(四月二日より三日間)設定 ○大日本柑橘販賣組合聯合會(日柑聯)設立 ○北陸、關西大風水害 ○東北冷害凶作 ○社團法人農林更生協會創立 ○農林省助成特定廿二縣農民道場設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○岡田内閣成立

昭和9年	<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉大宮種鶏場の白色レグホン 359 個産卵 ○米價石建二五圓九二錢 	
10年	<ul style="list-style-type: none"> ○社團法人日本米穀協會創立 ○東京帝大農學部駒場より本郷へ移轉 ○東京帝大農學部實科、東京高等農林と改稱 ○デリス、岡山縣小田郡山田村で栽培成功 ○北九州、關西、四國大豪雨、○東北凶作 ○米價石建卅圓廿九錢 	<ul style="list-style-type: none"> ○内閣に東北振興事務局設置○青年學校令公布 ○天皇機關説問題化する
11年	<ul style="list-style-type: none"> ○米穀自治管理法公布○産繭處理統制法公布 ○重要肥料業統制法公布 ○馬産獎勵規則公布○農林省內馬政局新設 ○青森種鶏場の白レグ 361 個産卵し世界記録 ○米價石建卅一圓十六錢 	<ul style="list-style-type: none"> ○二二六事件發生○廣田内閣成立○東北興業會社及東北振興電力會社創立
12年	<ul style="list-style-type: none"> ○中央農林協議會(廿五團體加入)誕生 ○糸價安定施設法公布○漁船保險法公布 ○森林火災國營保險法公布 ○アルコール專賣法公布 ○「日支事變による政策」養兔、兔毛皮の増産獎勵、臨時馬の移動制限公布、軍馬用大麥の増産獎勵、米穀統制強化、硫安配給統制、自給肥料増産獎勵、勤勞奉仕班の編成獎勵 ○東京農業教育専門學校開校 	<ul style="list-style-type: none"> ○林内閣成立 ○文化勳章制定 ○近衛内閣成立 ○支那事變勃興 ○貿易統制強化 ○物價續騰す○各種産業の統制益々強化○木材パルプ飢饉激化
13年(十一月迄)	<ul style="list-style-type: none"> ○農地調整法農業、保險法、硫安増産及配給統制法公布(4) ○農林省、時局下農産資源開發の大綱決す ○滿洲移民に青少年義勇軍結成進發す ○此頃移民の各地農村に分村運動盛 ○飼料配給會社創立(4) ○關東、東海地方未曾有の大豪雨(中央氣象臺創立以來の新記録)(6) 	<ul style="list-style-type: none"> ○國家總動員法電力管理法成立 ○物價昂騰す ○近衛内閣大改造○政府物資調整消費節約を強調○北中支國策會社設立

索引

ア

アーリー } 143
 ジェル }
 愛知蕃茄 143
 愛知白菜 142
 青刈大豆 79
 赤芽芋 142
 赤蓮 143
 アスバラカス 140
 亞麻、 }
 亞麻仁油 } 76,144
 天城山葵 143
 厚皮櫟 96
 あやめ 152
 水松 96
 栗 60,62,126
 李 148
 アンモフオス 153

イ(牛)

藺 72,74,144
 硫黄 164
 萎縮病 162
 苳 140
 一化性蠶 167
 一寸蠶豆 143
 無花果 148
 イナゴ 162
 稻藁 153,161
 今市小燕 142

今村秋 147
 稻熱病 162
 芋木 96
 祝 147
 茨城白菜 142
 移民 12
 岩槻葱 142
 鱈搾粕 153
 菜豆 64,138

ウ

ウインタ }
 ーベツチ } 152,153
 兎毛皮 125
 牛 { 頭數・品種 } 87-92
 牛島葱 142
 士當歸 138
 馬 (頭數・品種) 87-92
 梅 68-70,148
 漆樹 144
 浮塵子 162
 温州蜜柑 147

エ(工)

益虫、益鳥 184
 荏、荏油 74,103,144
 エゾギク 152
 蝦夷松 96
 豌豆 64,38
 燕麥 58,108,126
 燕麥稈 161

オ(ヲ)

大芥菜 67
 櫻桃 68,108
 近江燕 142
 大麥 56,108,126
 大麥稈及殼 161
 晚三吉 147
 於多福蠶豆 143
 落合節成茄子 143
 オモト 152
 温湯浸法 182

カ

カーネー } 152
 ショーン }
 外國米 55,107
 蠶の品種 167
 海鳥糞 153
 カイニツト 153
 家計費 112
 果實 49,68-70,148
 貨車積込 }
 の肥料量 } 188
 夏秋蠶 83
 果樹苗 70
 果樹の品種 147
 果樹施肥料 148
 櫛 96
 上總黒皮南瓜 143
 堅黒穂病 162

家畜 88-92
 家畜管理 191
 家畜學丸割去 191
 家畜の交尾 161
 家畜の種付 191
 家畜の品種 159
 家畜保險 92
 潤葉樹 92
 桂 96
 桂瓜 143
 火田 45,48
 燕菁 64,138
 カヘデ 96
 南瓜 64,138
 落葉松 96
 加里鹽類 153
 過磷酸石灰 80,153
 カルフオルニア } 147
 ブラツク }
 乾血粉 154
 乾藺 196
 甘蔗 76,144
 甘藷 62,126
 寒天 105
 甘藍 64,138

キ

牛乳、牛肉 109
 厩肥(完熟) 153
 厩肥の重量 189
 牛糞 153
 胡瓜 64,138
 氣温 40

機械油乳劑 164
 氣乾材比重 158
 菊千成茄子 142
 絹莢豌豆 143
 黍 62,104,126
 キャンベルス } 147
 アーソー }
 玉露 102
 魚肥 80,153
 桐 96
 菌核病 162
 金龜子虫 162
 金時人蔘 142
 銀杏薯 142
 銀寄 147

ク

グアヤゴール渡 185
 九條葱 142
 樟 96
 櫟 96
 桑畑 44,82
 桑苗 49
 栗 68,96,98,147,148
 胡桃 96,98,148
 吳羽百合 143
 クロールピクリン 164
 黒椿象虫 162
 黒部西瓜 143
 グワイヤツク丁幾 185

ケ

鶏糞 153
 鶏卵 90,109
 罌粟 144
 樺 196
 原蠶種 83
 原動機 120
 コ
 工藝作物 49,72-77
 141,144
 工藝作物の品種 146
 紅玉 147
 耕作用牛馬 89
 交雜原種(蠶) 167
 甲州葡萄 147
 降水量 41
 楮 74-77,96,144
 公祖負擔 113
 耕地 42-44
 麴病 162
 紅茶 102
 鑛物質肥料 80
 黄麻 71-76
 公有林 94
 杞柳 74-76,144
 小燕菁 142
 國光 147
 國稅 113
 穀物重量容量 136
 國有林 94
 穀類加工歩留 180
 穀類の用途 119
 小作 48,112,113

小作争議 117
 戸數割 114
 骨粉 153
 牛蒡 64,138
 胡麻 72-74,144
 胡麻油 103
 小松菜 142
 小麥 57,108,126
 小麥稈、藪 161
 小麥の麸質 185
 米 49-55,107,126
 米産額 52
 米の鑑定 84,85
 米の生産費 115,195
 米の用途 119
 米糠 153,161
 五鬚松 96
 御料林 94-96
 蒟蒻芋 72-76
 根瘤菌 187

サ

ザート } 152,153
 ウイツケン }
 材積の測定 192
 搾乳 87
 作物の加工歩留 180
 作物の酸性抵抗度 128
 作物の病虫害 162
 櫻 96
 櫻島大根 142
 サクラサウ 152
 柘榴 148

ササヲ病 162
 雜穀の價格 108
 札幌大長人蔘 142
 砂土 156
 里芋 64,138
 砂糖 78
 花柏 96
 銹病 162
 泊美菌 144
 サルビア 152
 三化螟虫 162
 産業組合 118
 蠶座 167
 蠶渣の生産量 190
 サンシキスミレ 152
 蠶室の消毒 183
 蠶種製造 83
 山椒 140
 酸性土壤の鑑別 187
 山東菜 142
 産卵 90

シ

椎茸 98
 シードリング 147
 鹿ヶ谷南瓜 143
 シカゴ小麥 109
 鹿ノ瓜 147
 ジキ南瓜 143
 自給肥料 80,153,155
 自給肥料の價格 155
 自給肥料の計算 188
 自小作 112

紫蘇 140
 七島蘭 72-76
 市町村税 113
 濕度 40
 紫草 98
 鹽地 96
 シヤクヤク 152
 社寺有林 94
 暹羅米 55,107
 收蒨高 84
 秋蠶の飼育 166
 熟蠶 168
 種子の消毒 182
 種子の肉眼鑑定 137
 私有林 94
 棕櫚 98
 春蠶 83-85
 春蠶體量の増加 168
 春蠶の飼育 165
 薑 138
 聖護院燕膏 142
 聖護院大根 142
 昇汞蠶室撒布量 168
 昇汞水稀釋法 183
 硝酸アンモニア 153
 硝酸曹達 80
 小豆 60-62
 小豆の價格 108
 條桑育 167
 壤土 156
 醱熟物の配合 190
 正米相場 107
 埴上 156
 植物質肥料 80

植物油 103
 食用農産物 49 62,102
 除虫菊 74-76,105,144
 除虫菊の鑑別 185
 除虫菊石鹼液 164
 白樺 96
 白檜 96
 飼料の成分 153
 白上ノ大根 142
 越瓜 64,143
 次郎柿 147
 白溢病 162
 廣島大越瓜 143
 廣島菜 142
 白玉百合 143
 白葉枯病 162
 白蓮 143
 白花豌豆 143
 鹿芥灰 153
 心喰虫 162
 眞黒茄子 142
 薪炭材 96
 新泊南瓜 143
 人糞尿 80,153
 針葉樹 96
 森林の蓄積 95
 森林伐採 98

ス

スキートビー 152
 西瓜 64, '33,143
 水牛 91
 酸莖菜 142

スイセン 152
 水田灌漑用水量 181
 水稻の品種 130
 水力機 120
 スワイト燕膏 161
 杉 96
 杉皮 98
 スマリアン氏 } 193
 求積法 }
 杏 148

セ

青果物 106
 西貢米 55,107
 生産費 115,116
 生産費の計算 195
 生産者手取金 104
 青酸瓦斯 104
 青酸加里液 164
 製繩機 120
 製茶 49,101
 精麥用機 120
 精米機 120
 西洋梨 68,147
 石油乳劑 164
 石油發動機 120
 石灰硫黄合劑 164
 石灰硫黄合劑加 } 182
 用冷水温湯浸法 }
 石灰窒素 80,153
 石灰ボルドー液 164
 節分 194
 全芽育 167

煎茶 102
 選種液 128
 千住葱 142
 ソ
 桑園面積 82
 桑葉生産費 115,195
 蔬菜 64-67,138
 蔬菜の促成 140
 蔬菜の種子 } 141
 重量、容量 }
 蔬菜の特産地 142
 蔬菜の苗床 141
 蔬菜の軟化 140
 蔬菜類の商品化 106
 租税諸負擔 113
 粗製茶 77
 蕎麥 60-62,108,126
 蠶豆 64,138
 蠶豆豌豆(綠肥) 79
 村税 113

タ

堆肥 80,154
 堆肥床の面積 189
 堆肥の容量・重量 189
 大豆 60-62,126
 大豆の價格 108
 大豆油 103
 大豆油粕 53,80,81
 大麻 72-76,144-146
 臺灣の果實 71

臺灣の家畜 91
 臺灣の工藝作物 77
 臺灣の蔬菜 67
 瀧の川人蔘 142
 竹皮 98
 筍 98
 立枯病 162
 立木材積測定 193
 脱穀機 120
 脱穀能率 169
 蓼 140
 田中枇杷 147
 種牡牛馬 89
 葱頭 64,105,138
 多毛作栽培 186
 ダリヤ 152
 タンカン 71

子

チーゼル 146
 竹材 96
 畜産物 49,109
 畜力機 120
 高苩 138
 地租 114
 茶 105
 茶樹 144
 茶の需給 102
 茶畑 101
 虫害 162
 チューリップ 152
 チュセスダ }
 ングレーム } 148

調合肥料 80
 朝鮮米相場 107
 朝鮮の果實 71
 朝鮮の蔬菜 67
 朝鮮松 96
 長十郎 148
 苧麻 72-76,144
 智利硝石 153
 縮緬赤羽南瓜 143
 地力増進法 187
 青麻 74

ツ

梅 96
 黄楊 96
 漬菜 64
 土負虫 162
 椿 98,152
 椿油 103
 椿油粕 153

テ

デラウエアー 147
 デリス石鹼液 164
 甜菜 144
 天津種(桃) 147
 傳十郎(桃) 147
 電動機 120

ト

蕃菽 67,138

冬瓜 138
 銅石鹼液 164
 苾菜 138
 唐の芋 142
 唐檜 96
 道府縣稅 113,114
 動物質肥料 80
 トーマス糞肥 153
 玉蜀黍 62,108,126
 桐油 103
 梅樞 96
 屠殺 87
 土壤の成分 156
 土壤の分類 156
 七葉樹 96
 土地利用 42
 椴松 96
 蕃茄 64,133,140
 度量衡の換算 197
 土用 196
 胡桐 96
 東京米 55

ナ

苗代所要坪數 129
 苗木植付距離 }
 及植付數算出 } 192
 長薯 142
 梨瓜 143
 茄子 64-66,138
 菜種 72,76,144
 菜種油 103
 菜種油粕 80,153

夏橙 70
 棗瓜 143
 ナデシコ 152
 ナポレオン }
 ビガロー } 147
 生柿 68,148
 腥黑德病 162
 生大根 64-66,138
 檜 96

ニ

乳牛 87
 入梅 196
 二化性蠶 167
 二化螟虫 162
 苦鹽汁 128
 廿世紀(梨)147
 廿四節 196
 鱈油粕 80,153
 日本梨 68-70,148
 二硫化炭素 164
 胡蘿蔔 64,138
 人蔘 74,144
 大蒜 67
 妊孕期間 161

ネ

ネーブル }
 オレンジ } 68-70
 ネオトン 164
 葱 64,138,142
 根喰葉虫 162
 練馬大根 142

ノイバラ 150
 農家戸數 46-48
 農家年中行事172-178
 農家の負擔 113
 農業關係品關稅 170
 農業機具 120
 農業經營 111
 農業資本 110
 農業收入 111
 農業純財産 110
 農業所得 194
 農業藥劑 164
 農業勞働 110
 農作物の }
 氣象抵抗度 } 126
 農作物の嫌地性 126
 農産品の輸出 104
 農産物總生産高 49
 農事作業工程 169
 野鼠 183

ハ

葉藍 72-76,144
 ハートレット 148
 パープルベツチ 152
 バイナツプル 71
 馬鹿苗病 162
 葉枯病 162
 掃立 83,165
 白菜 67,138

刷子 105
 植 72-76,144
 裸黑德病 162
 裸麥 57,126
 畑山葵 142
 葉煙草 72-76,144
 八十八夜 196
 蜂蜜 91
 薄荷 72-76,144,151
 バナナ 71
 花百合 105
 馬糞 153
 葉卷虫 162
 バラ 152
 刺桐 96
 馬鈴薯 60-61,105,126
 番茶 102
 バンヂロウ 71
 販賣肥料 80,153
 販賣肥料の計算 187
 斑葉病 162

ヒ

稗 62,108,166
 彼岸 166
 肥効率 154
 砒酸鉛石灰液 164
 扁柏 96
 羅漢松 96
 蓖麻 74
 姫小松 96
 檜柏 96
 ヒヤクニチ草 152

病害 162
 枇杷 63-70,143
 肥料 79-81,153-155
 肥料吸収率 155
 肥料の重量 154
 肥料の眞價市價 187
 肥料の成分 153

フ

フーベル氏 } 192
 求積法 }
 フォルマリン 164
 フォルマリン } 168
 蠶室撒布量 }
 蔞 140
 フシノキ 151
 鵲豆 140
 豚 88,92,109
 豚肉 109
 普通育(蠶) 165
 莞草 74
 葡萄 68-70,148
 ブナ 96
 富有柿 147
 ブラウンターキ 143
 ブラック } 148
 ハンパーク }
 フレームの寸法 190
 プレコース 147
 風呂湯浸法 182

ヘ

ヘアリベツチ 152
 米麥調製加工機 121
 絲瓜 72-76,144

ホ

厚朴 96
 防風 140
 菠薐草 133
 方領大根 142
 乾鰯 153
 醃柿 106
 ボタン 152
 ボンカン 71

マ

毎木法 193
 甜瓜 64,138
 馬込半白胡瓜 143
 マスカットオブ } 147
 アレキサンドリア }
 マスターホワイト 147
 松 96
 松島白菜 142
 松茸 98
 松脂合劑 164
 豆類の用途 119
 蔞 49,84-86
 蔞生産費 116,195
 蔞倉庫 86
 蔞取引 85
 蔞の掛目 195

ミ

三河島白菜 142
 三河西瓜 143
 三毛門南瓜 143
 蜜柑 68-70,105,148
 身不知柿 148
 野蜀葵 138
 三椏 72-76,144
 水芽 96
 蜜蠟 91
 峯橙 96
 美濃早生大根 142
 壬生菜 142
 宮重大根 142
 茗荷 140
 實棉 72-76

ム

麥 49,56-59
 麥扱能率 169
 麥摺機 121
 麥の品種 133
 麥類生産費 66,195
 麥類の用途 119
 麥藁 153

メ

螟虫 162
 棉花 78,144
 棉實油 103
 棉實油粕 80,153
 綿羊 78,92

モ

茂木枇杷 148
 木材の用途 158
 木材伐採 98
 苜蓿 79,152
 木炭 100
 木灰 153
 モグラ 183
 縦 96
 糶摺能率 169
 糶摺機 121
 糶摺歩合 180
 桃 68-70,148

ヤ

山羊 87
 藥草 151
 ヤグルマサウ 152
 椰子油 103
 椰子油粕 153
 野生食用植物 150
 野草(乾) 161
 野草薙 105
 ヤチダモ 96
 山科茄子 143
 大和西瓜 143
 倭錦 147
 白楊 96

ユ

ユリ 152

ヨ

養禽戸數 47
 養鶏 90-92
 用材 96-98
 養蠶戸數 47
 沃度丁幾 185
 養蜂 91
 養鶯 90
 糶野柿 147
 夜盗虫 162

ラ

落花生 76,144
 落花生油 103
 蘭貢米 55,107

リ

硫化加里液 164
 龍眼 71
 硫酸アン } 80,153
 モニア }
 硫酸加里 80,153
 硫酸銅液 164
 硫酸銅液浸法 182
 硫酸ニコチン 164
 離核水密 148
 陸地棉 74
 陸稻の品種 130
 綠肥 79
 綠肥作物種子 } 141
 の重量及容量 }

綠肥用作物 49,79,152
 磷酸アルミナ 153
 磷酸アンモニア 153
 苹果 68-70,143
 林木種子量 158
 林野産物 98
 林野面積 94

ル

ルービン 152

レ

冷水温湯浸法 182
 礫土 156
 紫雲英 79,152
 蓮根 64

ロ

六月芋 142

ワ

和歌山黄玉葱 142
 山葵 98,142
 ワシントン } 147
 ネーブル }
 早生赤 147
 早生越瓜 142
 早生千成茄子 147
 棉 72-76,78,144
 藁灰 153
 蕨 140 (索引終リ)

昭和三十三年版

日本國勢圖會

編共 一享崎白・太恒野矢

入函製上頁〇〇五版菊
三九四表 〇四三版圖

錢十五圓一 價定
錢四十 料送

本書創刊以來既に十二年、我國產業界及び經濟界各方面の最近の情勢と、世界經濟の動きを一

眸のもとに眺め得る最良書として世上に定評あり。

**我戰時經濟の姿
集めて此一巻にあり**

特に本年版には戰時體制下に於ける我國經濟界の近情を詳細に

解説す。豊富なる圖表、簡明なる統計、誰にも判る解説、これ本書の最大特長である。

發行所 東京・京橋第一相互館 電話二六八六 振替三六七 東京 國勢社 電話二六八六 振替三六七 東京

國勢社定期刊行物

國勢グラフ	一月刊 雜誌 二錢
日本國勢圖會	隔年刊 行 十錢
列國々勢年鑑	定年價 卅三錢 三錢
世界地理年鑑	定年價 廿七錢 三錢
日本地理年鑑	定年價 廿七錢 三錢
商品年鑑	定年價 卅三錢 三錢
農業年鑑	定年價 四十四錢 六錢
公民年鑑	定年價 各廿七錢 三錢
家事年鑑	定年價 廿七錢 三錢

昭和十年七月五日印
昭和十年七月十日初版發行
昭和十二年一月三十日改訂第四版印刷
昭和十二年二月五日同發行
昭和十三年十二月五日改訂第七版印刷
昭和十三年十二月十日同發行

昭和十四年 農業年鑑

定價四十四錢 (送料六錢)

編輯兼 白崎享一

發行人 東京市京橋區京橋三丁目一番地

發行所 東京市京橋區第一相互館

電話東京三七一六

振替東京二一八一

印刷所 東京市京橋區西八丁堀三ノ七

會社 不二印刷社分社

室野井 武

科學解説

代用品

再生品

新刊

定價一圓五十錢 (送料十四錢)

時代産業の科學的根柢と其の實際的知識

白崎享一 共著
佐久間哲三郎

四六版 上製 寫真圖版
四百頁 函入 九十八葉

新興代用品及び再生品百數十種を選び、科學的基礎を検討批判し、之を被代用品と比較して、その進むべき方向を解説したものの。叙述は我國の現状に基き平易懇切に、しかも科學的冷靜を失はず、興味に走りて誇張に陥るを避けた。代用品と再生品は持たざる國が今後全力を舉げて解決すべき課題で、又將來我が工業機構に根本的改革をもたらしめるものである。

發行所

東京・京橋 第一相互館

國勢社

振替 東京六三六

第十版

圖解商品の科學

菊版四七〇頁 上製 函入 寫真四三九 圖版一三七

白崎享一 共著 定價三圓
佐久間哲三郎 送料廿二錢

重要商品百數十種を選び、其性質、生産方法、用途等を數百の圖版、寫真を驅使し科學的、技術的に解説した。叙述は平易懇切を旨としたが、必要な場合には相當専門的領域にまで筆を進めてある。本書は普通の商品學や應用理科の本ではない。學術的に偏せず、飽くまで我産業の實情に即したことを最大の特長とする。

日本圖書館
協會推薦書

商產品と産業の
科學的基礎知識

燃料	電氣	金屬	探製材料	工業藥品	加工原料	藥業品	油脂類
可塑品	纖維製品	肥料	飼料	食料	醸造品	國防資料	索引

發行所

東京・京橋 第一相互館

國勢社

振替 東京六三六

外 343

國勢グラフ

産業と經濟の解説雜誌

豊富なる圖表
と簡明なる統
計を以て經濟
界及其他一般
國勢の動きを
平易に解説す
る月刊雜誌

毎月の概要

經濟大勢圖表

產業常識欄

卷頭論文

展望臺

(統計と解説)

(諸商品製造工程)

生産・消費費

(産業の各部門・外交・政治・社會其他一般新事實解説)

金融・財政

他山の石

交通・通信

(時事に關する海外新聞の抄譯)

其他新統計

定期附録

經濟と科學欄

一月號(列國國勢年鑑)

(生産技術の進歩と經濟の關係)

四月號(本邦基本統計)
十月號(世界商品統計)

定價

半年分 三十五圓
一年分 六十三圓
海外一年分 六十四圓

送料二錢
送料一錢
送料一錢

半年分中に新年號、増大號を含む場合は二十錢増し

昭和十二年合本

金四圓十錢

送料内地三十錢外地七拾五錢

綴込表紙

金四十錢(送料共)

14. 2ハ-108



1200501165724

終